

北海道港湾の整備促進のための

要 望 書

令和3年6月

北 海 道 港 湾 協 会

はじめに

四方を海に囲まれた北海道においては、国内の物流の92%、海外との物流のほとんどを海上輸送に依存するなど、港湾は極めて重要な社会資本です。

北海道は耕地面積が日本の4分の1を占めているほか、日本一の水揚高を誇るなど日本を代表する「食」の一大供給基地であり、港湾は産地と連携して農水産物の輸出に戦略的に取り組むフードポートとして、北海道総合開発計画はもとより、農林水産物・食品の輸出額を2030年に5兆円とする政府目標の達成に貢献します。

また、北海道は豊かな自然環境やアイヌ文化に代表される固有の歴史・文化を有していることから、新型コロナウイルス感染症の流行収束後の北海道内における人の流れと街のにぎわいを創り出し、地域を再活性化するためにも、クルーズ船の受入拠点として港湾が大きな役割を担うことが期待されています。

加えて、RORO船が利用するユニットロードターミナルの機能強化により地域の基幹産業の競争力強化を図るとともに、国内及び海外に至る広域的な静脈物流網の構築により、循環型社会の形成へ貢献することが期待されています。

2018年9月の北海道胆振東部地震の被災に際しては、多くの尊い人命が失われたところです。日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震対策の検討が進められており、防災・減災、国土強靱化に向けた対策の推進が必要であるほか、港湾施設の老朽化対策、有人国境離島の住民生活の安定・安全の確保などの取り組みは待ったなしの状況です。

さらに、北海道各地域において洋上風力発電やバイオマス発電導入に向けた取り組みが進められ、港湾の活用も期待されていることなどから、2050年カーボンニュートラルの実現に大きな役割を担うことが期待されています。

つきましては、地域の基幹産業、運輸、観光等の社会経済活動を支える各港湾の整備・機能強化が急務となっておりますので、令和4年度予算におきましては、全国の港湾整備予算はもとより北海道の港湾整備予算の増額について特段のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 地域の基幹産業の競争力強化

役割

- 北海道の港湾は、食料品製造業、製紙業、自動車関連産業、エネルギー産業、鉱業など地域の基幹産業の競争力の強化を図り、民間投資の誘発などを通じて、雇用と経済を支えるとともに、国民生活の向上に寄与しています。

要望

- 公共埠頭の混雑緩和や物流効率化を進めるため、係留施設の増設・改良等による複合一貫輸送ターミナルの事業着手、国際・国内物流ターミナルの機能強化をお願い申し上げます。
- 港内静穏度の向上に資する防波堤の延伸・改良、船舶の安全な入出港に資する航路・泊地の浚渫等の整備促進をお願い申し上げます。

<対象港：苫小牧港、十勝港、宗谷港、浦河港、白老港、瀬棚港、天塩港 等>



2. 循環型社会の形成、再生可能エネルギーの導入促進

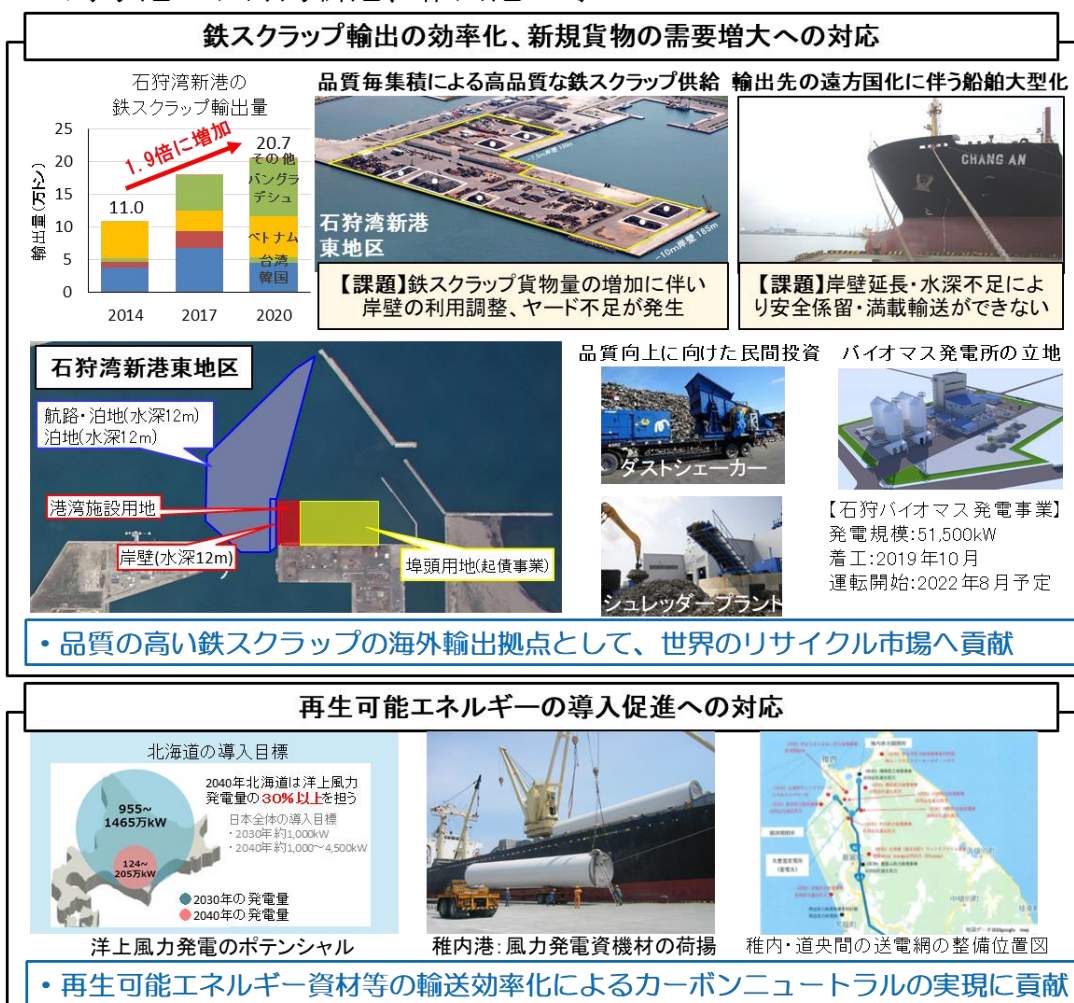
役割

- ・ 広域的な資源循環を支えるリサイクル産業は、地域経済の活性化に寄与しており、北海道から東南アジア・南アジアへの鉄スクラップの輸出量が増加していることから、輸出先の遠方化に伴う船舶の大型化への対応が求められています。
- ・ 北海道の周辺地域は風況に恵まれた再生可能エネルギーの導入適地であり、送電網の整備による連携容量の拡大も予定されていることなどから、2050年カーボンニュートラルの実現に港湾が大きな役割を担うことが期待されています。

要望

- ・ 鉄スクラップ、木質バイオマス燃料等の輸送効率化に資する大水深の係留施設、水域施設等の整備促進について、お願い申し上げます。
- ・ 再生可能エネルギーの導入に向け、大型船による輸送効率化を図るため、航路・泊地の浚渫等の整備促進をお願い申し上げます。

＜対象港：石狩湾新港、稚内港 等＞



3. 防災・減災、国土強靱化に向けた対策の推進

役割

- 平成 30 年 9 月の北海道胆振東部地震によって、港湾施設の沈下や液状化が発生しました。また、近年の高潮・高波・暴風等の災害の頻発化及び激甚化や気象変動による影響から港湾や背後市街地に被害が生じております。
- 日本海溝・千島海溝沿いの海溝型地震等の大規模災害に備えるため、港湾、港湾海岸の防災・減災、国土強靱化の対策が求められています。

要望

- 防災のための港湾及び港湾海岸の地震・津波や高潮・高波・暴風等に対する対策として、人命の防護、資産被害の軽減、経済活動を支える港湾施設及び港湾の海岸保全施設等の整備促進をお願い申し上げます。
- 近年の高潮・高波・暴風等の災害の頻発化及び激甚化や気候変動による影響などに備え、更なる国土強靱化を図るために、「防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策」に必要な予算の確保をお願い申し上げます。
<対象港：苫小牧港、釧路港、留萌港、網走港、増毛港、樞法華港 等>

防災・減災、国土強靱化に向けた対策の事例



護岸の越波状況(増毛港)



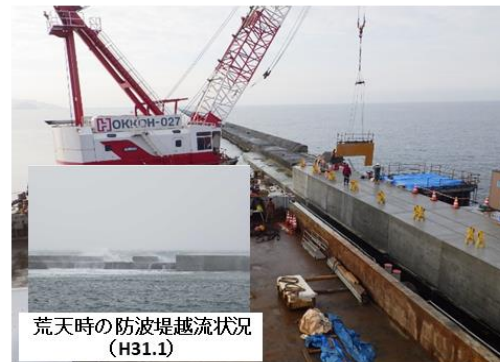
荒天時の岸壁浸水状況(H18.10)



防波堤(南)の越波状況(網走港)



越波等による港内擾乱状況(香深港)



荒天時の防波堤越流状況(H31.1)

老朽化した防波堤(北外)の補修(室蘭港)

4. 農水産物・食品の輸出促進への貢献

役割

- 令和元年の北海道の農水産物・食品の輸出額は575億円に達し、平成24年比で1.6倍に拡大しており、輸出額の7割は、苫小牧港、石狩湾新港等の港湾から輸出しております。
- 産地と連携して農水産物の輸出を促進するため、北海道の6港湾管理者が農水産物輸出促進計画を連携して策定し、戦略的に取り組みを進めています。このうち、輸出拠点港湾の2港では全ての計画施設が供用し、連携水揚港湾5港においても屋根付き岸壁の供用を着々と進めております。
- また、地域の漁業協同組合や民間企業等と連携した農水産物の輸出促進に資する先進的な取り組みを進めており、政府目標である農林水産物・食品の輸出額2030年5兆円の達成に貢献します。

要望

- 新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物輸出促進基盤整備事業の活用により、農水産物の輸出促進に連携して取り組む港湾において、水産物の水揚げ時の品質・衛生管理機能の強化に資する屋根付き岸壁の整備促進をお願い申し上げます。

<対象港：紋別港、根室港、枝幸港>



5. 世界水準の観光地形成に向けたクルーズ船の受入環境の整備

役割

- ・ 新型コロナウイルス感染症の発生に伴うクルーズ船の寄港キャンセルなど、北海道内においても厳しい状況が続いています。
- ・ 一方で、北海道のクルーズ観光は、船社や外国人旅行者からも好評を頂いていますが、民族共生象徴空間（ウポポイ）などの魅力的な道内各地の観光地への誘客促進、道産食材のクルーズ船への提供、北極海・アラスカクルーズや離島クルーズ等の新たな訪日観光ルートの開拓など、今後の更なる観光振興と地域の再活性化にとって港湾が大きな役割を担うことが期待されています。

要望

- ・ 函館港、小樽港においては、既存ストックを有効活用した大型クルーズ船の受入環境の改善に必要な整備の促進、室蘭港における大型クルーズ船受入にも対応した岸壁の老朽化対策の推進をお願い申し上げます。
- ・ 国際クルーズ旅客受入機能高度化事業等の継続、寄港地観光資源の充実にに向けた支援をお願い申し上げます。

<対象港：函館港、小樽港、室蘭港>



6. 有人国境離島の住民生活の安定・安全の確保

役割

- ・ 有人国境離島法に基づき、利尻・礼文、奥尻島は特定有人国境離島地域、天売・焼尻は有人国境離島地域に指定されております。こうした離島地域は、漁業、海洋調査、低潮線保全区域の監視などの領海の保全等に関する活動の拠点として重要な役割を果たしています。

要望

- ・ 離島における安定的な住民生活の維持や、人の往来・産業・物流の活発化を通じた地域活性化を図るため、離島の生命線であるフェリーの利用岸壁の静穏度対策、港湾施設の老朽化対策などの推進をお願い申し上げます。
＜対象港：江差港、奥尻港、羽幌港、鴛泊港、杓形港、香深港＞

北海道の有人国境離島を取り巻く状況



防波堤を越した波の遡上状況
(奥尻港)



フェリー岸壁老朽化状況
(江差港)



離島航路フェリー利用状況
(羽幌港)

7. 港湾施設の老朽化対策の推進

要望

- ・ 老朽化が進んだ港湾施設の機能を回復させ、引き続き地域の産業や住民生活を支えるため、老朽化対策の推進をお願い申し上げます。
＜対象港：小樽港、釧路港、霧多布港、えりも港、森港、岩内港 等＞

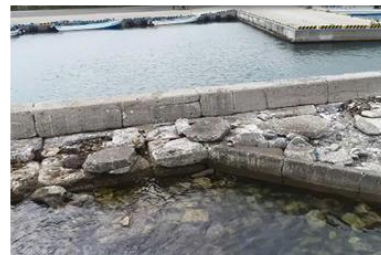
港湾施設の老朽化状況



防波堤上部工の欠損状況
(釧路港東港区西防波堤)



防波堤本体工の鉄筋露出状況
(霧多布港北防波堤)



防波堤本体工のコンクリート劣化状況
(えりも港北防波堤)

8. 社会資本整備総合交付金（港湾、港湾海岸）の予算の確保

要望

- ・ 港湾管理者が実施する大型岸壁と接続する主要なアクセス道路の改良・補修、港湾の防災機能強化、農林水産物の輸出促進に資する港湾施設や海岸保全施設などの整備促進に必要な港湾、港湾海岸の社会資本整備総合交付金予算の確保をお願い申し上げます。

社会資本整備交付金による事業の例



農水産物輸出促進のための遊休化した船揚場・護岸の岸壁改良（苫小牧港 西港区）



クルーズ受け入れのための第3号埠頭の緑地改良（小樽港 第3号埠頭）



水叩きコンクリートの老朽化状況（稚内港海岸）

9. 現状の特例制度や組織体制の存続・強化

要望

- ・ 今後とも北海道の資源・特性を活かして、我が国が直面する国の課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため、北海道総合開発計画の着実な推進と予算の一括計上とともに、北海道の港湾整備に関する特例制度及び国と地方の役割が適切に分担された現状の組織体制の存続・堅持、「防災・減災、国土強靱化」の取組の加速化・深化を図る観点から北海道開発局の更なる人員増など執行体制の強化、地方港湾への更なる予算の増額などをお願い申し上げます。

北海道港湾協会

特別顧問

衆議院議員 伊東良孝

国際拠点港湾・重要港湾

地方港湾

室蘭港湾管理者 (室蘭市長)	青山 剛 (副会長)	宗谷港湾管理者 (稚内市長)	工藤 広
苫小牧港湾管理者 (苫小牧市長)	岩倉 博文 (会長)	枝幸港湾管理者 (枝幸町長)	村上 守継
函館港湾管理者 (函館市長)	工藤 壽樹 (副会長)	霧多布港湾管理者 (浜中町長)	松本 博
小樽港湾管理者 (小樽市長)	迫 俊哉	えりも港湾管理者 (えりも町長)	大西 正紀
釧路港湾管理者 (釧路市長)	蝦名 大也 (副会長)	浦河港湾管理者 (浦河町長)	池田 拓
留萌港湾管理者 (留萌市長)	中西 俊司	白老港湾管理者 (白老町長)	戸田 安彦
稚内港湾管理者 (稚内市長)	工藤 広	森港湾管理者 (森町長)	岡嶋 康輔
十勝港湾管理者 (広尾町長)	村瀬 優	榎法華港湾管理者 (函館市長)	工藤 壽樹
石狩湾新港港湾管理者 (北海道知事)	鈴木 直道	松前港湾管理者 (松前町長)	石山 英雄
紋別港湾管理者 (紋別市長)	宮川 良一 (副会長)	江差港湾管理者 (江差町長)	照井 誉之介
網走港湾管理者 (網走市長)	水谷 洋一	奥尻港湾管理者 (奥尻町長)	新村 卓実
根室港湾管理者 (根室市長)	石垣 雅敏	瀬棚港湾管理者 (せたな町長)	高橋 貞光
		石狩港湾管理者 (石狩市長)	加藤 龍幸
		岩内港湾管理者 (岩内町長)	木村 清彦
		余市港湾管理者 (余市町長)	齊藤 啓輔
		増毛港湾管理者 (増毛町長)	堀 雅志
		羽幌・焼尻・天売港 港湾管理者(羽幌町長)	駒井 久晃
		天塩港湾管理者 (天塩町長)	佐々木 裕之
		鷺泊港湾管理者 (利尻富士町長)	田村 祥三
		杵形港湾管理者 (利尻町長)	上遠野 浩志
		香深港湾管理者 (礼文町長)	小野 徹 (副会長)

令和3年6月2日

北海道港湾協会会長 岩倉 博文



